

第2回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和6年8月12日(月) 18:00~18:30

場所 県庁12階 特別会議室 災害対策本部総務班

(18時00分開会)

【災害対策本部】

関係機関からリエゾンの紹介（東北農政局岩手県拠点、岩手運輸支局、東北総合通信局、NTT 東日本岩手支店、ドコモビジネスソリューションズ、KDDI エンジニアリング）

【盛岡地方气象台から】

台風第5号の状況について（資料を基に説明）

【田端防災課総括課長】

これまでの被害及び対応状況について 8月12日15時現在の状況報告（資料を基に説明）

【各部局及び関係機関から】

○保健福祉部長

日本赤十字社岩手県支部の対応として、久慈市役所からの依頼で物資輸送、毛布、タオルケット、安眠セット、パーテーションを2台のトラックで本日正午に向かい、16時に久慈市の防災センターに到着したという報告を受けている。

その他、社会福祉施設の避難状況として、山田町で1施設が避難所に移って避難中、岩泉町で2施設が避難所に避難、1施設が垂直避難として2階に避難をしている。また、久慈市でも1施設が2階に垂直避難を行っている。宮古市の福祉施設（平成28年台風第10号で浸水した施設）についても、避難所の方に避難をしている。もう1つの施設も避難所のほうに避難しているという情報をいただいている。

引き続き福祉施設等の避難状況について、確認をし、必要な支援を行っていく。

○県土整備部長

15時現在となっている資料を17時半現在に訂正する。

県管理河川の出水状況については、(1)の氾濫危険水位超過河川は、記載の3河川に葛巻町の馬淵川が加わり4河川。

(2)の避難判断水位超過河川については、久慈市の長内川、宮古市の長沢川、大船渡市の盛川、宮古市の閉伊川の4河川。

9市町村に対してホットライン（河川状況に関する市町村長等への直接伝達）を実施したところ。

県管理ダムについては、本日の10時23分から実施していた緊急放流を、14時10分でその操作を終えた。

道路管理関係は、全面通行止め箇所15路線18ヶ所。内訳は、事前通行規制箇所10ヶ所、波浪警報箇所1ヶ所、災害等箇所が7ヶ所となっている。

砂防関係は資料記載の通り、釜石市甲子町内においてがけ崩れによる非住家1棟の損壊が確認されている。

○沿岸広域振興局長

職員のリエゾン派遣について報告する。岩泉町から多くの被害報告があったことを受け、岩泉町と連絡を取り、本日11時過ぎに宮古地域振興センターから職員1名を派遣し、町の災害対策本部会議にも出席したところ。ただし、町のほうで災害対策本部体制を縮小する方針ということで、リエゾンを一旦引き上げることとしたところ。

【達増本部長（知事）】

リエゾンで来ていただいた皆様と本部員会議に参加いただいている皆様に改めて御礼を申し上げる。

徐々に被害の報告が出てきているが、床下浸水が4棟発生しているほか、宮古市で床上浸水が発生している模様である。また、岩泉町での孤立情報などもある。通行止めや土砂崩れ・倒木など、様々な被害が出ているので、県民の皆さまには、危険なところには近づかないということと、自分の住んでいるところに危険が及びそうであれば、垂直避難も含めて、安全を確保して欲しい。

まだ、雨が降り続けているところもあるので、県の対策本部としても、職員関係者の安全の確保に努めながら、市町村、関係機関と連携して、必要な対応をしっかりと行うこと。

現在1,500人余の方々が避難しているが、本日10時30分に緊急安全確保を発令した久慈市など、市町村には風雨が強くなる前に避難指示や高齢者等避難を発令して、しっかりとやっていたらと思う。

保健福祉部から報告があったように、福祉施設の避難もしっかり行われておりいいと思う。

長内川の上流の滝ダムは緊急放流せざるを得なかったが、事前放流をしておいたのが良かったと思う。県管理ダムで初の事前放流だったが、緊急放流への負担があまりかからず、まだ警戒は要するが、事前放流の効果はあったかと思う。

警報級の雨が内陸部と沿岸南部では今夜いっぱい、沿岸北部では明け方まで続く見込みである。

県民の皆様や帰省中の方々にあっては、今後、まだまだ河川の増水も考えられることから、川沿いの土地等の危険な場所に近寄らないなど、油断することなく身の安全を守る行動をお願いします。

（18時30分 閉会）

※ 第3回本部員会議は8月14日（水）14:00を予定。